

提出された意見等及びそれに対する市の考え方

「えびの市まちづくり実施計画（案）」について、ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただいたご意見の内容（要旨）及びそれに対する市の考え方を掲載しています。

- 1 案件名 えびの市まちづくり実施計画（案）
- 2 募集期間 平成28年2月15日～平成28年2月29日
- 3 意見等提出件数 1件（1人）
- 4 意見等の内容と市の考え方

意見等の要旨	市の考え方
<p>今回計画の防災拠点に設置予定の太陽光発電設備については、「電気代の節約を目的とし、災害停電時の非常電源としては自家発電機があるので考慮しません」と記載されている。</p> <p>電力会社への売電はしないと書かれていたが、電気代の節約、つまり経費の節約による経済性の追求ということだと理解する。太陽光発電装置の減価償却期間全体の、設置工事費用（工事費用を借り入れる金利負担まで考慮）及びメンテナンス費用を考慮したときに、電気代の節約と勘案して経済性が本当にあるのか疑問。経済性を検討した資料を開示してほしい。</p> <p>災害停電時の非常電源としての自家発電機が現在の計画では1台となっており、その1台が故障した場合には施設全体が機能不全に陥ることが予想される。よって、災害停電時の非常電源を確保するために、自家発電機を2台体制とすることが望まれる。</p> <p>自家発電機を2台とするための予算確保のために、経済性に疑問のある太陽光発電を取りやめるべきだと考える。</p>	<p>・太陽光発電の整備については、施設への非常時も含めた電力供給が可能であり、同時に自然エネルギーの有効活用という観点で施設運営の一部にも使用することで省エネや環境問題に関する学習の教材としての活用を図ることを念頭に計画しております。電気代の節約のみの目的ではないため誤解を与える表現にならないよう検討し、表記を改めます。</p> <p>・発電機の2台設置については、災害時のみの使用となるので、設置費用また計画施設の規模を考慮すると過大整備になると考えます。1台であっても平常よりメンテナンスを行うことで災害時の緊急対応も可能であると考えます。</p>